

霧の朝

2015.12.1

今年の秋は暖かかったせいか結局矢掛の周辺では赤い紅葉はほとんど見られなかった。11月初旬に干し始めた干柿はすっかりカビにおおわれて黒ずんでしまった。トマトがいつまでも実を付けた。

それが11月下旬に突然冬になった。こたつだ、ヒートテックだと慌てて冬の準備をした。それがどうにか収まった12月1日の朝は深い霧が立ちこめ、日が昇るにつれて青空がのぞき始める普段の冬日になった。

季節は実に様々な姿で移り変わってゆく。



道々川の上に沿って雲が出来て小田川まで続いている。



正面は高妻山。

北側斜面に牧場が有り、来年から大手スーパーが千頭の乳牛を飼育し、牛乳生産を始めると言う。



この家の主人は夏に亡くなった。奥さんが一人で住んでいる。大きな家だ







道々川は草藪に隠れてひっそりと流れている。
しかし、その温気が霧となって上空に漂い、流れのありかは隠しようが無い。





道の脇の土手に日が当たり蒸気が立ちのぼる。



例年通り200羽ほどの鴨がやってきた。
こちらが土手から顔を出すと大慌てで水にもぐったり、飛び立ったりして池は大騒ぎだ。

